



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	(仮称)静岡森下町ビル	BEE	0.6	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度							
重点項目	得点 [*] /満点	取組み度	評価	凡例	よい	ふつう	がんばろう
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	2.3	/5		がんばろう	4 点以上	3 点以上	3 点未満
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.0	/5		ふつう			
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.5	/5		がんばろう			
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.2	/5		がんばろう			
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)				評価	よい	ふつう	がんばろう
					4 点以上	3 点以上	3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目					
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。							
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点		2.3			
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ②昼光率:共用部2.5%以上・居室1.0%以上1.25%未満とし、積極的に昼光を利用する。	Q-1	2	2.1	2.1.2	①	外皮性能
		Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備
				3.2	3.2.1	③	昼光制御
		Q-2	2	2.2	2.2.1	④	躯体材料の耐用年数
				2.2.2	④	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
				2.2.3	④	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
				2.2.4	④	空調換気ダクトの更新必要間隔	
				2.2.5	④	空調・給排水配管の更新必要間隔	
				2.2.6	④	主要設備機器の更新必要間隔	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑥空地を80%以上設けることにより風の通り道を確保。	Q-3	1			⑤	生物環境の保全と創出
			3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦BPI _m =0.86 ⑨BEI _m =0.89	LR-1	1			⑦	建物外皮の熱負荷抑制
			2			⑧	自然エネルギー利用
			3			⑨	設備システムの高効率化
			4	4.1		⑩	モニタリング
				4.2		⑩	運用管理体制
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪井水を洗浄水として全館で利用。 ⑫躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用し、躯体と仕上材の容易な分別を可能とした。 ⑬ODP=0、GWP=3.0の断熱材を使用	LR-2	1	1.1		⑪	節水
				1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム導入の有無
					1.2.2	⑪	雑排水等利用システム導入の有無
			2	2.1	2.1.1	⑫	材料使用量の削減
					2.1.2	⑫	既存建築躯体等の継続使用
					2.1.3	⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用
					2.1.4	⑫	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
					2.1.5	⑫	持続可能な森林から産出された木材
					2.1.6	⑫	部材の再利用可能性向上への取組み
			3	3.1		⑬	有害物質を含まない材料の使用
				3.2	3.2.1	⑬	消火剤
				3.2.2	⑬	断熱材	
				3.2.3	⑬	冷媒	
	■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 特になし	LR-3	1			⑭	地球温暖化への配慮
			2	2.2		⑮	温熱環境悪化の改善
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点		3.0			
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯建築基準法に定められた耐震性を有する。 ⑰可能な限り配管系統を区分し、非常用発電設備を備えている。	Q-2	2	2.1	2.1.1	⑯	耐震性
					2.1.2	⑯	免震・制振性能
				2.4	2.4.1	⑰	空調・換気設備
					2.4.2	⑰	給排水・衛生設備
					2.4.3	⑰	電気設備
					2.4.4	⑰	機械・配管支持方法
					2.4.5	⑰	通信・情報設備
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点		2.5			
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) 特になし	Q-2	1	1.1	1.1.3	⑱⑲	ユニバーサルデザイン計画
			3	3.1	3.1.1	⑲	階高のゆとり
					3.1.2	⑲	空間の形状・自由さ
	■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) ㉑防犯カメラを設置	Q-3	3	3.1		㉑	地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点		2.2			
	■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/㉓敷地内温熱環境の向上) ⑳空地を80%以上設けることにより風の通り道を確保。	Q-3	1			㉓	生物環境の保全と創出
			2			㉒	まちなみ景観への配慮
			3	3.2			㉓
	■敷地外環境対策 (㉔温熱環境悪化の改善) 特になし	LR-3	2	2.2		㉔	温熱環境悪化の改善

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)静岡森下町ビル	階数	地上9F
建設地	静岡県静岡市駿河区森下町5番3	構造	RC造
用途地域	市街化区域(近隣商業地域)、準防	平均居住人員	240 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル、工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2021年7月 予定	評価の実施日	2020年2月7日
敷地面積	1,125 m ²	作成者	(株)東横インアーキテクト
建築面積	459 m ²	確認日	
延床面積	3,645 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。	その他 特に無し。	
Q1 室内環境 屋光率: 共用部2.5%以上・居室1.0%以上1.25%未満とし、積極的に屋光利用を行っている。 内装仕上げ材に、F☆☆☆☆の建築材料を使用し、	Q2 サービス性能 各種設備の配管は耐用年数の高い材質を採用している。	Q3 室外環境(敷地内) 特に無し。
LR1 エネルギー 断熱性の高い資材等を採用し、熱負荷の低減を図る。	LR2 資源・マテリアル 井水を洗浄水として使用している。 発泡剤を用いた断熱材等を使用しておらず、環境に配慮している。	LR3 敷地外環境 省エネルギー基準クリアを目指した断熱性能、設備省エネ性能とする事で、CO ₂ 低減を図る。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される